

地球の未来を考える

～ESDユネスコ世界会議が名古屋で開催されます～

今年11月、国連が定めた「持続可能な開発のための教育（ESD）の10年」の最終年
会合であるESDユネスコ世界会議が名古屋で開催されます。

ESDのテーマに関連する、地球環境、貧困、人権、平和など、グローバルな問
題に関する資料約400点を集めて展示します。



平成26年9月12日(金)～11月12日(水)
愛知県図書館 1階ロビー

ESD（持続可能な開発のための教育）とは

環境、貧困、人権、平和、開発といった、現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、
身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行
動を生み出すこと、そして、それにより持続可能な社会を創造していくことを目指す学習
や活動のことです。※ESDは、Education for Sustainable Developmentの略。

展示資料の一例をご紹介します。展示資料は貸出できます。(一部を除く)



地球の今の姿と今後の予測

- 『温暖化の世界地図 第2版』Kirstin Dow、Thomas E. Downing 丸善出版 2012.11
地球温暖化の実態や問題点、今後の予測を、世界地図に重ねて分かりやすく解説。
- 『民族紛争(岩波新書)』月村太郎 岩波書店 2013.6
世界各地で起きている民族紛争を、コソヴォ、ルワンダなどの事例をあげて解説。
- 『人権をめぐる十五講』辻村みよ子 岩波書店 2013.11
代理母、宗教的慣習からの解放、性差別や少年犯罪、生活弱者など現代の社会にある人権問題を解説。
- 『生物多様性<喪失>の真実』ジョン・H. ヴァンダーミーア、イヴェット・ペルフェクト みすず書房 2010.4
熱帯雨林の急速な破壊と先進国の食卓にたどりついたバナナの関連性は?生物多様性を守るにはどう考えるか。
- 『最新世界の農業と食料問題のすべてがわかる本』八木 宏典/監修 ナツメ社 2013.6
世界の農業と食料需給など食と農をめぐるさまざまな問題とその取り組みを豊富な写真と図版とともに解説。
- 『2033年地図で読む未来世界』ヴィルジニー・レソン 早川書房 2012.6
増加する人口問題を切り口として、食糧、水、生物多様性、エネルギー、気候変動などの行く末を予測する。
- 『2050年の世界 英『エコノミスト』誌は予測する』英『エコノミスト』編集部 文芸春秋 2012.8
人々の健康から財産まで多方面から世界を変革するトレンドを探究、2050年の世界がどのように形作られるかを予測。



未来のために、今できること

- 『地球に残された時間 80億人を希望に導く最終処方箋』レスター・R・ブラウン ダイアモンド社 2012.2
これまでどおりの生活を続けたら残り時間は?気候変動や世界経済の拡大がもたらす危機と解決法プランBを論じる。
- 『モットイナイで地球は緑になる』ワンガリ・マータイ 木楽舎 2005.6
著者は植樹で土地の砂漠化を阻止する環境保護活動「グリーンベルト運動」の創始者で2004年ノーベル平和賞受賞。
- 『未来へつなぐたからもの』名古屋大学大学院環境学研究科しんきん環境事業イノベーション寄附講座編 風媒社 2012.8
次世代のために今何ができるか、名古屋大学など地元の大学や有識者が行った市民向け講演会をまとめたもの。
- 『スローシティ 世界の均質化と戦うイタリアの小さな町(光文社新書)』島村奈津 光文社 2013.3
イタリアの個性的な町を紹介、ショッピングモールやチェーン店がもたらす画一化した町づくりに対抗し、住民が町のアイデンティティを誇りに思い幸福に暮らす場とは何かを問う。
- 『フードマイレージ あなたの食が地球を変える』中田哲也 日本評論社 2007.9
飽食の時代、身近な「食」を通じて地球環境を考える。地産地消や食育についても言及。
- 『ローカーボンライフ!』Alex Kirby、UNEP GRID-Arendal Editorial Team 編 オーム社 2010.5
個人、企業、自治体、国などが温室効果ガスを削減していくために知っておくべき知識と情報を提示。
- 『アジェンダ21 持続可能な開発のための人類の行動計画』海外環境協力センター 1993.5
1992年リオデジャネイロで開催された国連環境開発会議(地球サミット)で採択された行動計画。世界の環境保全のために全世界が一丸となって取り組んだ歴史的な会議であったとされる。リオ宣言の日本語訳あり。



ESD(持続可能な開発のための教育)とは何か

- 『ユネスコスクールによるESDの実践』秋田市立秋田商業高等学校ビジネス実践・ユネスコスクール班編 アルテ 2013.2
ESDとは何かという基本的な内容から、ESDの歴史、学校での実践事例を含めて論じる。
- 『身近なことから世界と私を考える授業 100円ショップ・コンビニ・牛肉・野宿問題』開発教育研究会 明石書店 2009.4
学校等でロールプレイやクイズ、ワークシート作成等を通してESDを推進するノウハウ。
- 『伝統や文化に関する教育の充実』中村哲編 教育開発研究所 2009.4
ESDでは伝統文化についても対象にしている。国語や音楽、社会科などの学校での具体的な事例も紹介。

【お問合せ】

愛知県図書館 総務課 企画グループ
〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-9-3
Tel 052-212-2323 Fax 052-212-3674
<http://www.aichi-pref-library.jp/>

【交通案内】

- 地下鉄/鶴舞線 または 桜通線「丸の内」下車8番出口から北へ徒歩5分
- 市バス/名古屋駅から 幹名駅1・名駅14「愛知県図書館」下車徒歩3分

【開館時間・休館日】

午前10時～午後8時(土・日・祝日は午後6時まで)
休館日: 月曜日、毎月第2木曜日
*ただし9/15(月・祝)・10/13(月・祝)・11/3(月・祝)は開館
9/16(火)・10/14(火)・11/4(火)は休館

